

保育おおさか

447

No.

平成 24 年 11 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

より良い保育のための 協働を模索して

養成校と保育園との研究懇談会開催

10月2日、シティプラザ大阪で「第1回保育士養成校と保育園との研究懇談会」が開催されました。保育部会の新規事業として、今年度からスタートしました。保育部会常任委員が対象で、今回52人が参加。養成校からは67人の参加がありました。懇談会の冒頭、松本敦氏（大阪城南女子短期大学教授・学科長）と山田純氏（同広報室課長）から「時代・世相と親子と：そして今時の親子のつきあい方」をテーマに話題提供をいただきました。要旨を紹介します。

時代・世相と 親子と：そして今

ー今時の親子のつきあい方



松本 敦氏

松本氏は、2つの年代に着目されます。1つ目の年代は、今20代の親の世代である、1990年当時20代後半〜30代だった人たち。

今までの社会人とは違った価値観を持った新人類と呼ばれ、会社人間で、良い就職先があればすぐに転職すればよいという考え方を持っています。

恋愛についても、自分が傷つきたくない・人を傷つけないと考え

「優しさの時代」と言われました。心から人と向き合えないようにしようとする傾向があります。

親になってみただけでも、子どものために自分の時間を使いたくない。職場にも子どもを連れていき、子育てを全て自分だけでしようとする人がでてきました。

「自分探し」が終わらない世代でもあります。会社に入ったものの、自分に合ったものが他にあるはず、と探し続けた年代です。

2つ目の年代は、今20代の人たち。生まれた時からインターネットがある環境で育ち、現実とネットの世界を区別せず、人を年齢や性別、肩書などの属性で判断しなくなりました。ツイッターやフェイスブックなどの

SNS（ソーシャルネットワークワーキングサービス）が発達。無料で情報がどんどん手にはいる時代です。



山田 純氏
山田氏は、養成校が直面している課題について報告。

「集中心力の低下」「目的意識の低下」が今の学生の問題と指摘。ゆとり世代と言われ、勉強する総時間が減ったこと以外にも別の原因があると説明されました。

「学力の低下」は、勉強していても大学などに入学ができること。「集中心力の低下」は、集中心力がなくなったわけではなく、自分自身の興味ある、なしを短時間で判断するようになったこと。

「目的意識の低下」は、消極的進学者が増え高卒の求人が減り、目的がないまま大学に行くしかないという環境にあることを指摘されました。

これらの社会的背景は、養成校の学生募集だけでなく、保育園の新人採用でも大きく影響している。これに対応することが、養成校と保育園の共通した課題であることをお二人は強調されました。

話題提供を受け、テーマに沿ったグループディスカッションが行われました。

2面にグループディスカッションの概要掲載



昨年9月にはじめての子どもが生まれた。今まで保育所で仕事をしていたので、子どものことは理解しているつもりだった。園にいる子どもたちの姿と、家での我が子のおきのおきや夜泣き、沐浴、排泄、真夜中の発熱など、初めてのことが多かった。

家内のおなかが大きくなるにつれて、「無事に元気で生まれてきてくれ」と、親であれば誰もが願うだろう。

生まれて間もなく、別室で看護師から確認を受ける。鼻やおしりの穴があるか。手足の指の数など。確認することなのだ、と驚く。

生命の誕生って、どこからなのか。出生時なのか。母親のおなかで宿った時なのか。どちらにしてもすごいエネルギーで、不思議なことである。

出生前診断の是非が問われている。出産には心配事が多い。知って安心できるとは限らない。「生きている」ってどういうことか。毎日、目が覚めることに感謝する。

(編集委員 K・M)

より良い保育士を育てるには

グループに分かれ熱く議論

15グループに分かれて、グループディスカッションが行われました。松本、山田両氏の話題提供を受け、「養成校が取り組めること」「保育園が取り組めること」「養成校と保育園とが連携・協働して取り組めること」など、議論を深めました。

本誌編集委員が参加したグループでのディスカッションの様態を紹介します。

その他のグループで出た主な意見を紹介します。

養成校 短大生は授業・実習で非常に忙しい2年間。

学生が目的意識を持った
り、なりたいたい保育士像を
じっくり考えたりする時間
的余裕がない。

保育園 採用決定から入職
までに、仕事の本質を考え
てもらうための研修を何度

【実習】

●4年制大学の学生は時間的にも余裕があり、心にゆとりをもちながら実習しているように感じるが、カリキュラム内容が変わり、授業量が増えた短期大学生は、内容を十分に理解する間もなく実習に出ている傾向がある。

●学生は実習ノートの記入に時間がかかる。保育士も日常の保育を行いながらで、十分なチェックや指導ができない。保育士の保育と学生の実習が両立できるように、養成校・保育園双方で内容を検討する必要がある。

【カリキュラム】

●保育部会では「保育園における地域貢献事業」の支援員養成を行う

ている。保育への関心だけでなく、社会福祉施設の一員として積極的
に取り組めるよう、学生時代から
意識できないか。

●養成校でも、保育だけでなく「社会福祉」について理解できるようカリキュラムを実施しているが、
学生が十分理解するまでには至っていない。

【連携】

●養成校の教授と保育士20人で年間5〜6回ゼミ形式の授業を実施（京都府の事例）。参加する保育士の経験年数は異なり、それぞれテーマを設けて開催することで、
養成校と保育園との連携が強まっている。保育士同士のつながりができ、日頃の課題や困りごとなどの情報交換も行われている。

【就職】

●短期大学生は約9割が保育園または幼稚園に就職している。比率的には、保育園がほとんどで、残り1割が小学校や介護現場。4年制の学生では、5割が保育園や幼稚園、小学校、介護現場に就職するが、残り5割は企業へ就職。

●企業は重複して採用試験が受けられるが、保育園は重複して受けれないことが多い。企業に比べ給与面も低いので、学生からは就職条件がよくないように見られている。

よりよい保育士を育てるために、実習のあり方や就職について、養成校と保育園とで協働研究を重ね、一層の連携を図っていくために、お互いの努力を熱く語り合いました。（編集委員K・S）



会場全体が熱気に包まれる



本音で熱く語り合う

か行っている。仕事をじっくり考える点を教育・指導している。

養成校 学生が就職先を選択するポイントは、給与面、保育内容、通勤時間など。労働条件よりも、保育士間の人間関係が作っている。かを重視する学生もいる。

保育園 筆記試験での保育士の専門性を見極めるのと併せて、挨拶、笑顔、協調性、コミュニケーション能力なども採否のポイント。

「養成校の実状が分かった」低いと思っていた学生の保育園への就職率など、イメージと違っていた部分もあった「より良い保育士を育成していくために、今回の機会は大変有意義」保育現場と養成校には、共通する課題が多く、それぞれがさらに協力体制を組む必要性を強く感じた」などの懇談会参加者の意見がありました。

「介取り（白取り）」講習会のお知らせ

「介取り（白取り）」の人材育成を図ります。ご興味のある方はぜひご参加ください。



日時：平成24年11月10日（土）
14時～16時

場所：榎塚台保育園
（堺市南区榎塚台3-5）

参加費：2,000円（当日徴収）

定員：20人程度（先着順）

服装：餅つきができる服

参加希望者は、保育園名、氏名を記入の上、FAX 072-297-9484までお申込みください。（様式不問）

平

成23年4月に開園
された「ひよしおひ

さま保育園」は高槻市の北東部にあり、0〜2歳児を対象とした「ひよしおひさま保育園」と3〜5歳児を対象とした「日吉幼稚園」の幼保連携型認定子ども園です。

保育園に入園する3歳未満児は、高槻市子ども未来部に入園を申し込みます。3歳児以降の日吉幼稚園入園が前提とされています。新緑の木々の間に淡いピンクの山桜が色を添える春。朝夕そよそよと木々を揺らし涼やかな風を運ぶ夏。赤・黄・朱色：一面が

四季の移ろいはこぶ山々を借景 体いっぱい動かせる広々環境

小規模園の利点フル活用
幼保連携型認定子ども園

高槻市 ひよしおひさま保育園



体をめいっぱい動かせる園庭

鮮やかな絨毯のような秋。時折降る雪に山肌も真っ白に染まる冬。東海自然歩道を擁する山々の四季の移ろいが借景となって目に映ります。

そんな自然の移り変わりを、子どもたちは広々としたウッドデッキから目にし、体操をし、ボールを追いかけて、体をいっぱい動かして過ごします。

幼稚園の広い園庭では、お兄さん、お姉さんたちのふれあいもあります。芝山を走り回り、泥んこ遊びをし、虫を追いかけて：異年齢の子ども同士の関係も自然な形で育っていきます。

定員36人の小規模な保育園の利点を活かし、ゆった



ウッドデッキでの体操は気持ちいいよ

りした環境の中、のびのびと、一人ひとりが持っている個性や育ちを見つめた保育を展開されています。

(編集委員M・K)



保育園を
たずねて

458



こっこ保育園は、京阪線寝屋川市駅から南へ徒歩約10分、定員60人の保育園です。40年ほど前、寝屋川市周辺の有志が集まり、民家などを利用して設立した共同保育所が始まりました。姉妹園4園のうち3園が7年前に社会福祉法人となり、現在の場所に移転、新たにスタート。「家庭的な雰囲気、大人も子どもも育ちあう」が、創設以来受け継がれている精神です。



鯉のぼりの鱗を張っているとす

園庭開放のほか毎月、感触遊びなど地域の子育て支援活動にも積極的です。園庭にある高い登り棒が



完成!!

が棒をよじ登るそうで、保護者が裏方として参加するという点も大変参考になりました。(編集委員J・H)



必死で頑張るお父さんたち

室外・室内の遊び充実に工夫
みんな育ちあう家庭的雰囲気

色シャボン玉、手作り鯉のぼり
保護者も裏方で参加する園行事

寝屋川市

こっこ保育園

光と風の空間を重視した園舎 木の香りと明るく温かい雰囲気

五感働かせ出会う発見・感動
ちびっこ農園で野菜嫌い克服

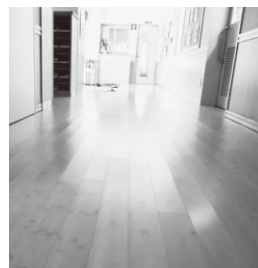
東大阪市 くすのきめぐみ保育園



象形文字の書道

晴らしい潜在能力を大きく育てるために「人と人とのつながり」をベースに、五感を働かせ、たくさんの方と見や感動に出会える保育が取り組まれています。結果よりも一人ひとりの活動の過程を大切に、心の育ちを受けとめ、個性や伸びゆく力を引き出すために、歌唱、和太鼓、手話、習字、異文化交流など、特色ある保育活動が行われています。

すのきめぐみ保育園は、東大阪の中部にあり、待機児童解消を目的に、平成23年4月に開園。本園の「くすのき保育園」との一体感を表すために、建物の外観も統一。内装には木材をふんだんに使い、明るく温かい雰囲気にあふれた保育園です。



抗菌作用がある竹材の廊下



本園と同じ色の園舎

また保育園の中に「ちびっこ農園」があり、食育にも力を注がれています。無農薬で栽培し給食に使用したり、家庭に持ち帰って親子で料理を作るなど、野菜嫌いをなくす取り組みにもなっています。

(編集委員K・M)

和泉市南部にある横山きのみ保育園は、平成24年4月、定員90名で開園。山や田畑に囲まれた自然豊かな保育園で、木造平屋建ての園舎に入れば、心安らぐ木の香りがいっぱい。春になると、新茶摘みや旬観察に出かけたり土粘土で食器作りもします。夏には、農園や園庭で夏野菜を収穫し、クッキングを楽しんでいます。小動物との触れ合いも大事にし、大きなカブトムシ小屋の中では、200匹ほどのカブトムシが次々成虫



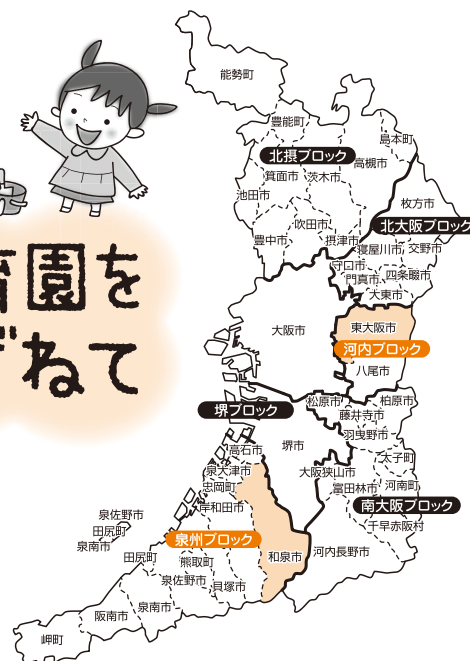
青空のもと、大池や横山の村が見えるテラスで太鼓の練習。



脇目も振らず、いっしょうけんめい栗拾い!

「一粒のきのみが太木に育ち、林や森になる。太陽と風、四季の花や木々の芽吹き、小動物との出会い。自然や人といっぱいかかわりながら、地域の中で、優しさや生きる力を育んでいけたら良い」と、友田裕子園長は話されていました。

(編集委員K・A)



になります。小屋の中はまるでクヌギ林のようで、子どもたちは大喜びでした。秋の田んぼでは、6月に植えた稲を刈り、栗山で栗拾いをします。栗ご飯、茹栗などにして食べます。園に隣接する「道の駅」には、季節の新鮮な野菜がたくさん並びます。子どもたちは、毎日の給食に使う野菜を買い出しに行きます。安くて美味しそうな食材選びも、楽しみのひとつです。地域のひとたちとふれあう機会も多く、「かわいい子どもから元気がもらえる」と絵本の読みかせや、手作りおもちゃ作りに訪ねてこられます。

心安らぐ木の香りいっぱい 豊かな自然の中の平屋建て園舎

四季の芽吹き、小動物との出会い
自然と人にかかわり優しさ育む

和泉市 横山きのみ保育園



● よい子ネット ●

園からの情報を より早くより簡単に 届けるツール

よい子ネット 活用術

発信先の特定・不特定を区分 緊急の連絡にも便利

東大阪市 はるか保育園



4年前、「よい子ネット」研修会に参加し、活用を始めた。台風などの警報が出た時に、利用したのが始まり。それまでは、各担任の先生方が各家庭に電話をかけていました。今は担当の保育士がいて、各クラスからの文章や画像を確認し、園内外の情報を積極的に配信しています。

「園からのお知らせメール」や画像を添付できる「トピックス」を使い分けて、園内向けの情報と、不特定



はるか保育園のホームページ

の人が閲覧できる内容とに区分しています。最初に「よい子ネット」のサポートセンターに申し込んで、設定できるグループ分けを「園からのお知らせ」



親子教室のご案内を配信

せ」と「各クラス」「他のグループ」に分けます。そうすることで、遠足やお泊り保育などクラス別にある行事にも対応でき、年度末の更新作業もグループごと一括して移動するだけ。とても簡単にできます。

園全体に配信されるメッセージでは、気象警報などの情報のほかに、「あっ！伝え忘れた」などの急な連絡にもすぐに対応できて便利です。

クラス別のメッセージでは、普段なかなか見ることができない保育園内の様子や、お散歩の様子などを週に1回のペースで配信。保護者の方々などに大変喜ばれています。

親子教室などの案内も、利用者に登録していただき、一斉に連絡が取れるように工夫されています。保

育園のホームページとしても利用されていて、基本的な情報はそこから入手できます。

使用にあたっては、パスワードの設定やアンケートなどの機能もあります。

「便利な点は、手軽で使いやすいこと。一方、手軽なだけに、不適切な表現などをチェックすることを忘れてはいけません」と、好川智也理事長はおっしゃいます。（編集委員K・M）

見たい情報を瞬時に届ける より多くの保護者に利用促す

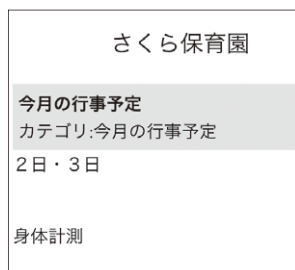
八尾市 さくら保育園

毎月の行事予定や園からのお知らせ、保護者の方との連絡ツールとして、「よい子ネット」を活用しています。

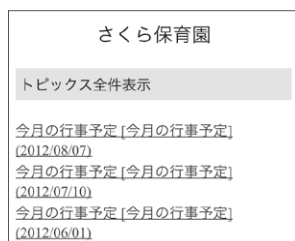
「よい子ネット」を使って配信することで、多くの保護者の方に、瞬時に、より簡単に、情報が届けられます。

トピックスの作成や編集が簡単にでき、写真付きの投稿が可能で、ボタン一つで登録者（保護者）に一斉送信できるなど、使い方も大変

もちろん、登録はあくまで任意です。毎月の行事予定やお知らせは、園だよりなどのプリントでも各家庭に配布していますが、保護



携帯からも行事を把握できる



自分の見たいトピックスもすぐ見つかる！

者の方が園からの情報を早く簡単に入手できる一つの手段として、「よい子ネット」を活用しています。

台風や地震など緊急時には、お迎えや休園の問合せなど、保護者の方からの電話によって、保育園の回線が混み合い、連絡が取りにくくなっています。警報や休園などの情報を、「よい子ネット」を使って配信することで、そうした状況を少しでも緩和する手段としても活用しています。

保育園からの情報だけでなく、大阪府の防犯情報も一緒に登録できるようになっています。

地域ごとにブロック分けされているので、自分の住んでいる地域を選択することで、防犯情報をリアルタイムで入手できます。

当保育園でも保護者の方に「よい子ネット」の利用がまだまだ浸透していないのが実情ですが、登録の仕方や内容を園の掲示板で紹介するなどしており、より多くの保護者の方に登録・利用してもらえるようにしたいと考えています。

（さくら保育園A・T）

河内

母子愛着形成を学ぶ
東大阪市私立保育園

10月18日・19日、秋も深まる琵琶湖畔で保育士一泊研修を開催。乳幼児虐待や育児不安の主な要因、母子の愛着形成不全の予防に

有効な「ベビーヒーリングタッチ」のインストラクター養成を目的とした研修に25人が参加しました。

岡部めぐみ氏（理学療法士）が「小児の成長と発達」のテーマで講義。出生から3才までの成長のプログラムを詳細に学びました。続いて田原悦子氏（日本



インストラクター目指してマッサージ!!

などの成長と発達を促進します。さらに、タッチによる深いコミュニケーションが母子の絆を深めてくれるのです」と話されました。

実習では、インストラクターの指導のもと、赤ちゃんサイズの人形を使い、撫で方や親に指導するコツも習いました。

2日目は、白川嘉継氏



真剣な様子で取り組む受講者

（福岡新水巻病院医師）が「母子愛着形成の重要性」について講義。資格取得のために研修を行うのは、保育会では初めての試みでしたが、熱心な参加者の様子から、今後も互いに研鑽を重ねたいと思いました。

（むぎの穂保育園K・M）

堺

保育者集団の大切さと
ストレス対策

民間保育園連盟園長研修会



熱心に話される重田 博正氏

10月17日、堺市産業振興センターで、重田博正氏（大阪社会医学研究所主

任研究員）が「職員のメンタルヘルス」をテーマに講演。

ストレス問題を取り上げる際、結果としてのストレス状態に対する対処であり、



真剣なまなざしの受講者

「私が両手をひろげても、お空はちっとも飛べないが、飛べる小鳥は私のように、地面を早くは走れない（金子みすず『私と小鳥と鈴と』）を引用しつつ、保育集団における人と人との関係、人間関係のルールについて言及され、人の多様性を認め、尊重することの重要性を強調されました。（編集委員T・S）

楽しく活気のある保育者集団の大切さについては、素敵な先輩の存在が後輩の働く展望を左右すると指摘。先輩がイキイキと働く集団では後輩も前向きに働けているという調査結果を紹介されました。

しかも個人的な対処の場合が多い。ストレスの原因を小さくするには、政治・社会・職場・個人という社会的構造のなかに「個人的対応」を位置づけるべき。特に保育職場では、「社会」と「職場」の影響が重要であることを指摘。ストレス対策として進められる職場での労働負担の軽減について、様々な事例をもとに解説されました。

旬

国の根幹を整備してこなかったツケが、いま…
秋真つ盛り。さあ、腕がなる「牛すじカレー」

新嘗祭（にいなめさい）五穀の収穫を神に感謝する祭礼。天照大御神が新嘗祭を行った記述が古事記にあり、農耕民族である日本の大変起源の古い祭礼。戦後、勤労感謝の日となった。

外国船が領海侵犯しても、拿捕したり処罰する法律が今の日本にはないらしい。自衛隊派遣の際も、銃を持って実弾は勝手に撃つたらアカン。撃たれてから撃て。やられてから撃て?? それも国会の論議、笑い者にな

り。尖閣を占領され実効支配されても、現状では手も足も出ない。現政権が足元を見られているからだ。また「金で済むなら」としてきた歴代政府も、国としての根幹を整備して来なかったツケが、いま回ってき

た。平和憲法を掲げたら、他国からの侵略はないと考え、人の意見を大事にする政党の皆さんの意見を聞いたものだ。よしんば他国に占領された暁には、日本の代弁者として語るのであろう。

秋真つ盛り。遠出の際には、必ず道の駅に。信州辺りに行くと、キノコの種類が沢山。山の幸・海の幸がより深まる秋を醸し出してくれる。ぽちぽち、温かいモノが恋しくなる季節。また温泉豆腐を取り寄せよ!! 究極のボン酢も買いに走って。



真剣なまなざしの受講者

人々との関係、人間関係のルールについて言及され、人の多様性を認め、尊重することの重要性を強調されました。（編集委員T・S）